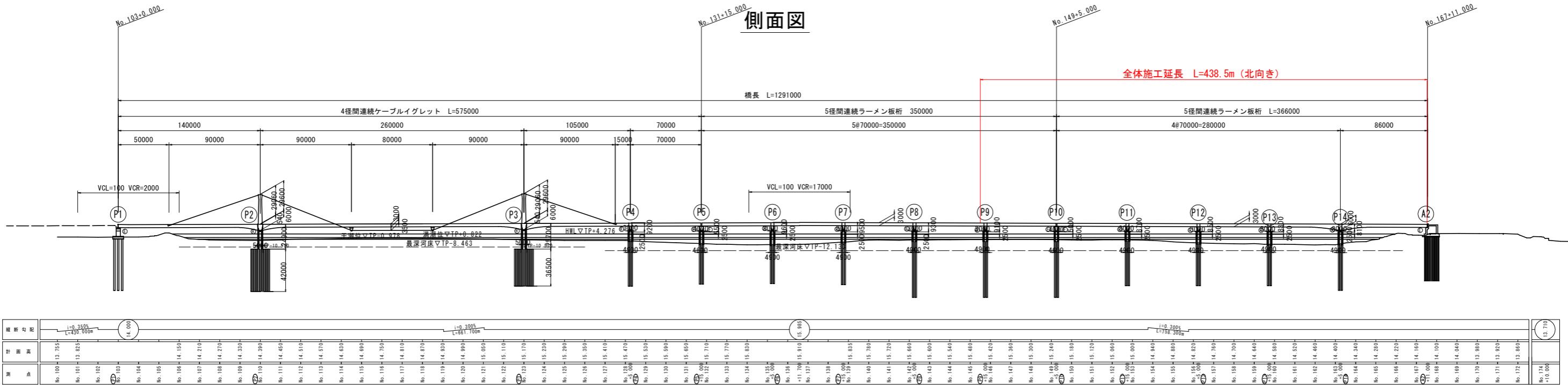


橋梁一般図 S=1:2000



【橋梁諸元】

橋長	1291.000m
析長	575.000m+350.000m+366.000m
道路規格	第4種 第1級
荷重	B活荷重
形式	上部工 4径間ケーブルリグレット、5径間連続ラーメン板桁×2 下部工 ラーメン式橋台（杭基礎）, 壁式橋脚（鋼管矢板基礎）
径間長	140.00m+90.00m+80.00m+90.00m+105.00m+70.00m + 5@7.00m+4@70.00m+86.00m
有効幅員	4.00m+ (8.00m~11.00m) + (8.00m~11.00m) +4.00m
横断勾配	歩道部 2% 直線片勾配 車道部 2% 直線両勾配
縦断勾配	0.3% 0.3%
地盤係数	$K_h=0.30$
使用床版	サンドイッチ型合成床版
歩道部	鋼床版
使用コンクリート	上部工 圧縮強度 $\sigma_{ck}=45N/mm^2, 30N/mm^2$ 下部工 圧縮強度 $\sigma_{ck}=30N/mm^2, 24N/mm^2$
使用鋼材	上部工 SMA400, SMA90Y, SM570 下部工 SD345, SKY400, SKY490
水位	HML=TP+4.276
適用示方書	道路橋示方書・同解説I~V (平成8年12月)

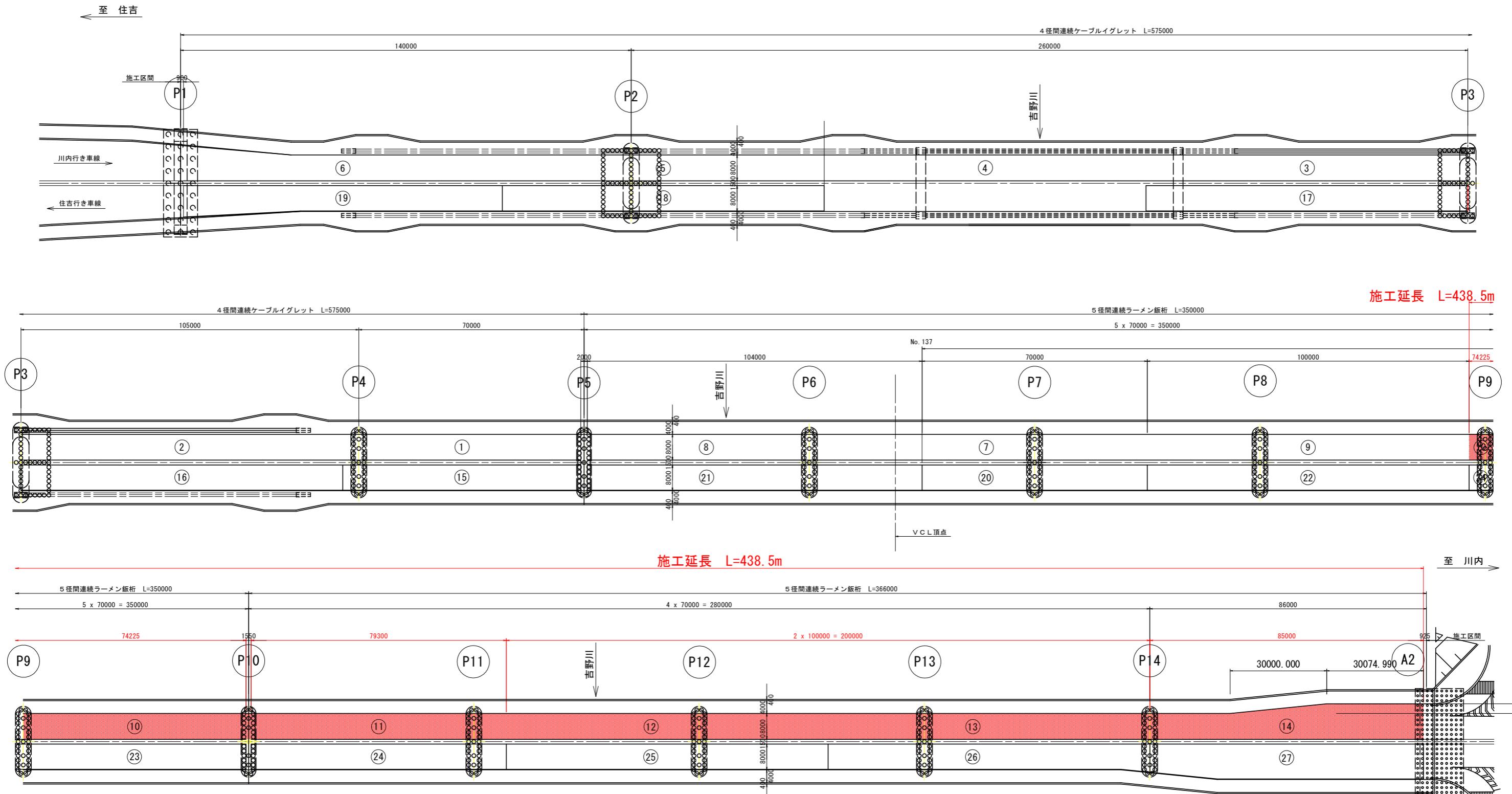
実施設計図面

工事名	R7鹿島 德島環状線(阿波しらさぎ大橋) 鹿・川内側 橋梁修繕工事
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市川内町鶴島地(阿波しらさぎ大橋)
図面名	橋梁一般図
縮尺	1:2000
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

舗装詳細図(その1) S=1:600

全体マーク図

平面図



舗装施工フロー



※1 1サイクル(1週間)における施工区間は延長100mを基本とする。
 ※2 既設舗装内への耐水を防止するため、伸縮装置で区切られた区間のうち、縦断勾配上側から順番に施工していく。
 ※3 施工順序の目安として、施工区間毎に①～⑦の番号を振り分けている。
 (南行き区間は⑯～⑰)

工事名	R7鹿児島環状線(阿波しらさぎ大橋) 墓・川内地 舗装修繕工事
路線名等	鹿児島環状線
工事箇所	徳島市川内町鶴島地(阿波しらさぎ大橋)
図面名	舗装詳細図(その1)
縮尺	1:600
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

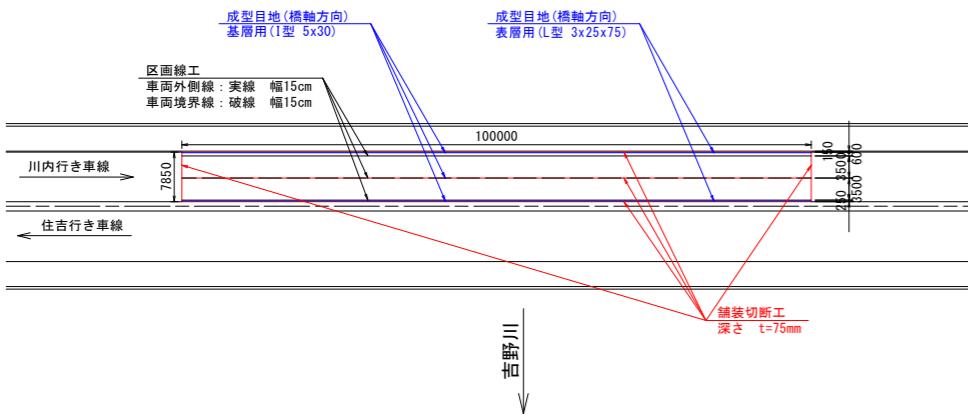
実施設計図面

2 / 3

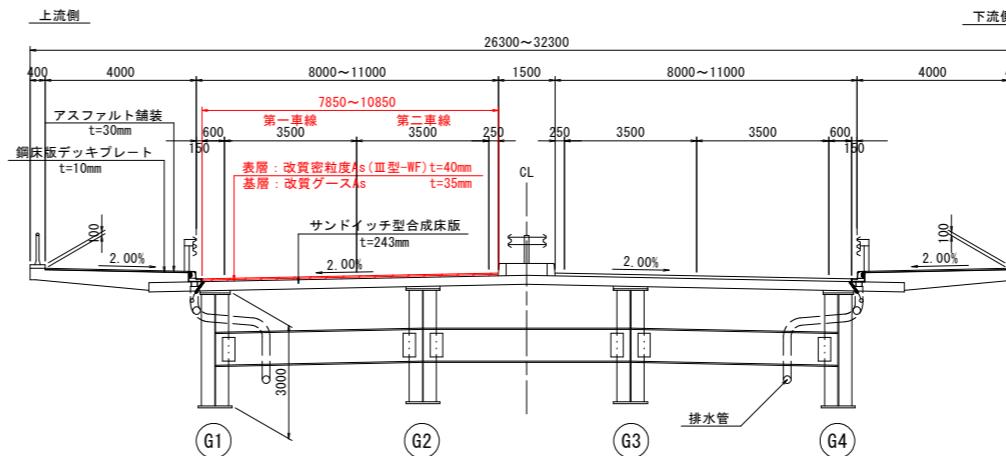
舗装詳細図(その2) S=1:600

各ブロック詳細図(上流側)

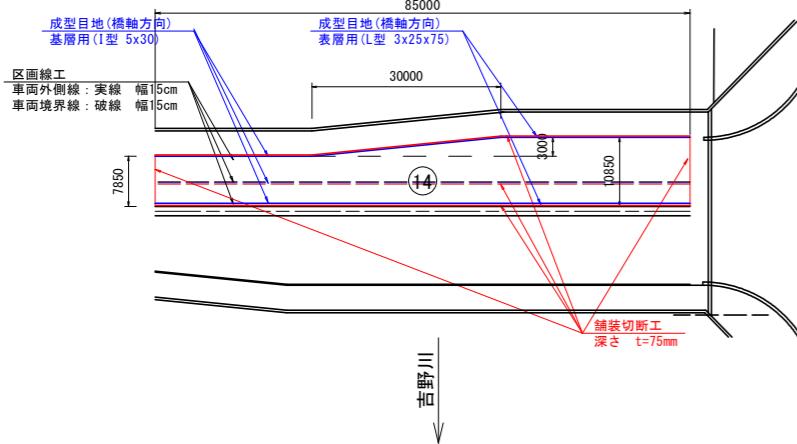
⑩～⑬



断面図 S=1:100



⑭

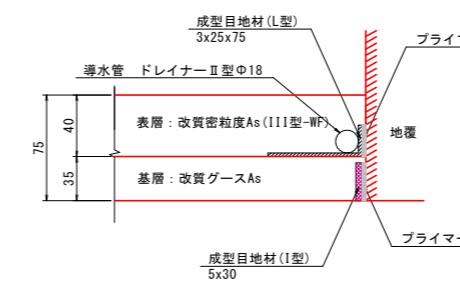


防水層構成断面図

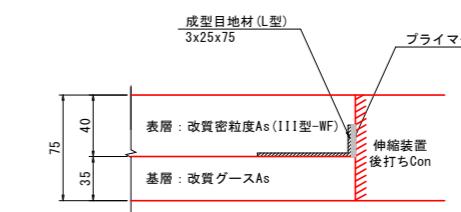


端部処理詳細図 S=1:3

橋軸直角方向断面



橋軸方向断面



実施設計図面

工事名	R7鹿島 德島環状線(阿波しらさぎ大橋) 墓・川内地 舗装修理工事	
路線名等	徳島環状線	
工事箇所	徳島市川内町鶴島地(阿波しらさぎ大橋)	
図面名	舗装詳細図(その2)	
縮尺	1:600	図面番号
会社名		3 / 3
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>	